

## 認知症サポーター養成講座

認知症の症状や本人、家族への対応について正しい知識を学びます。講座修了者には、認知症サポーターカードとオレンジリングを交付します。

①9月26日(火) ①10:00～12:00  
②14:00～16:00 ③19:00～21:00

場 市役所4階大会議室 対 市内在住・在勤者

定 各40人程度(先着順)

申 8月30日(水)から9月19日(火)に  
ながの電子申請サービス(右記2  
次元コード)または電話で

問 高齢者介護課

Tel. 71-2474



**オレンジカフェが活躍の場**  
もともと市内には各地域に2カ所ずつくらいカフェがありました。コロナ禍の3年間でその数は少なくなりました。オレンジカフェ山吹もそうですが、カフェの利用者の多くが高齢者であるため、密を避けながらのカフェの開催は難しい状況でした。この状況が長く続いた結果、コロナ前までカフェを開催していた施設も運営体制が整わず、カフェの開催を望む声にこたえられない現状が課題となっています。

**認知症サポーターの活躍の場**  
これらの課題の解決の鍵を握るのは、地域の皆さんです。認知症の人や家族が安心して暮らすためには、近所に住む皆さんや友人などの理解や支えが大切です。今の状況でできることを、いろんな立場の人が少しずつ協力していくことが、認知症を「地域で支える」ために大切な一歩です。認知症の人への対応や関わり方に迷ったときは、認知症サポーター養成講座が効果的です。

カフェの運営においても、施設単位での開催が難しいのであれば、サポーターの皆さんにお手伝いしてもらったことで開催できるかもしれません。それに、サポーターの皆さん自身も、認知症とそれを取り巻く人々の状況を学ぶ機会にもなります。サポーターの皆さんの活動の窓口を広げ、活躍の場を増やす取り組みができたらと思います。



社会福祉法人七つの鐘  
河野 幸恵 さん

**【PROFILE】**

社会福祉士/介護福祉士/保育士  
特養やデイサービスのスタッフを経て2019年からロピテル一日市場の中で開催しているオレンジカフェ山吹の企画・運営に携わっている。

**それぞれに合った支え方を考える**  
認知症になったとしても、自分らしく家族の一員としての役割を持って過ごしていくためにどんなフォローが必要かということ、本人や家族と一緒に考えていけたらと思います。支え方は1つではありません。それぞれに合った支え方を一緒に考える人が増え、みんなが暮らしやすい地域になればと思います。

オレンジカフェ山吹も、支えるための選択肢の1つとして、地域に根付いていけるように活動を続けていきたいと思っています。



**気持ちを共有する場**  
しかし、間もなく新型コロナウイルス感染症がまん延したため、カフェの開催を自粛し、毎月ニュースレターを発行したり、相談や問い合わせに広く対応していました。

**気持ちを共有する場**  
が訪れてくれました。

寄せられる相談の多くは、認知症の人との関わり方や、頭では理解しているけれど介護の中でたまにイライラなど。やり場のないモヤモヤ感や葛藤を誰かと共有したい、悩みを共感できる人と話したいというものでした。

カフェに来る目的はさまざまです。同じ悩みを持つ人同士が集まって話をすることだけで、「来てよかった」「気持ち楽になった」と思ってもらえるような手助けができればと心掛けています。



認知症の人やその家族などの拠り所となっているオレンジカフェ。スタッフの1人としてカフェの企画・運営に携わっている河野幸恵さんに、取り組みと課題を聞きました。

オレンジカフェ ～地域で支える～